

この説明書は、必ず設計・施工される方へお渡しください。

設計・施工される方へのお願い

本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意

...取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

本製品を設計・加工・組立て・施工するときは、下記事項をお守りください。

製品の破壊および落下によりけがをするおそれがあります。

施工について

- ・みだりに改造・変更しないでください。
- ・組立てねじ、ボルトは必ず指定のものを使用してください。又、使用中ゆるまないように締付けてください。
- ・タッピングねじの下穴には指定より太いドリルを使用しないでください。
- ・コーナー部・端部にはコーナーキャップ・エンドキャップを必ず取付けてください。
- ・アルミ型材が亜鉛、ステンレス以外の金属と接触するときは、絶縁処理をしてください。

施工完了時の確認

- ・組立て・施工後は、柱・面材等をゆすってガタツキのないことを確認してください。ガタツキがあると落下等のおそれがあるため、ある場合は手直しをしてください。

すき間・足がかりについて

- ・ベランダ手すりシリーズ加工・組立て説明書(UD4600)を参照してください。

施工上のお願い

施工は専門業者が行ってください。

当社指定の付属品以外は取付けないでください。

PLラベルを必ず発注してください。

PLラベルは必ず格子ユニットに張付けてください。

施主様には、1世帯ごとに「取扱説明書」を必ずお渡しください。

格子ユニットを組立てた後、格子を斜めにたたんだりしないでください。

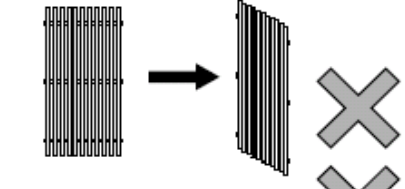
格子の組立てねじがゆるむおそれがあります。

アルミ型材の切断について

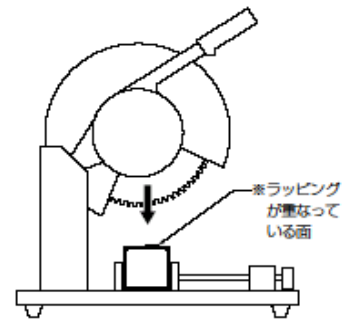
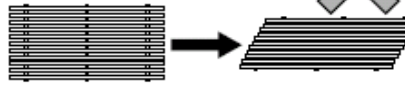
(高速丸型鋸切断機をご使用の場合)

- ・歯はアルミ切断用のものを使用し、磨耗しているものや欠けているものは使用しないでください。
- ・回転数は3000～4000回転/分でご使用ください。
- ・ラッピングが重なっている型材は、重なり面がある方向から切断してください。

縦格子



横格子

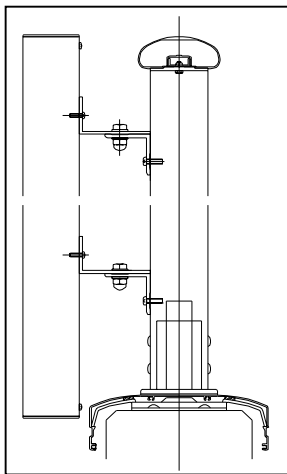


【重なり面がある場合】

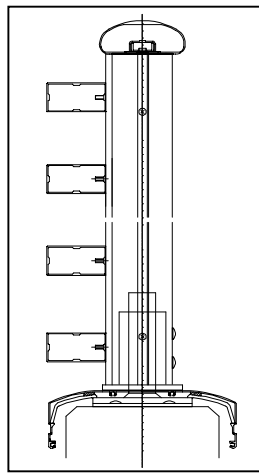
取付け条件

ベランダ手すりへの取付け方、格子の種類により納まりが異なります。

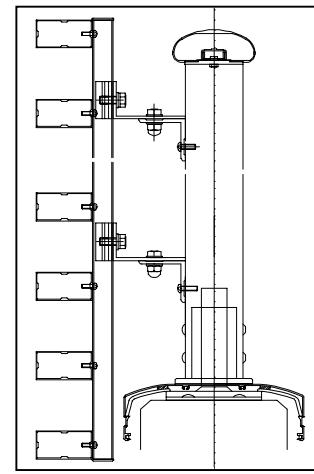
56柱
持出し
納まり
(縦格子)



56柱
直付け
納まり
(横格子)



56柱
持出し
納まり
(横格子)



取付け詳細

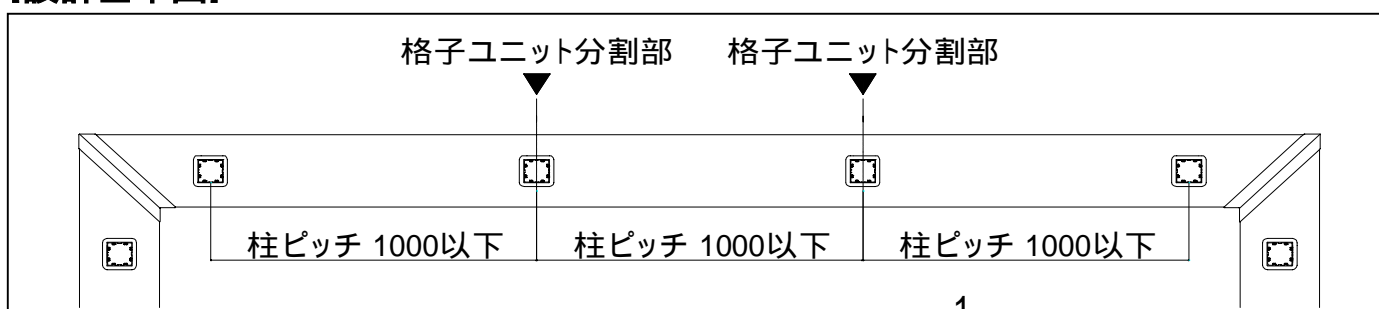
【1】コーピング・ベランダ手すりの取付け

コーピング、ベランダ手すりは、ベランダ手すりシリーズ加工・組立て説明書(UD4600)に従って取付けてください。

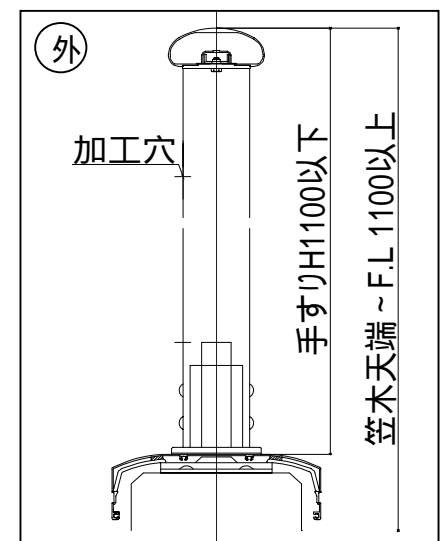
56柱は先に、56柱固定アングル取付け穴の加工が必要です(各納まりの加工図参照)

56柱持出し納まり(横格子)は格子ユニットの分割はできません。

【設計基準図】



【設計基準図】



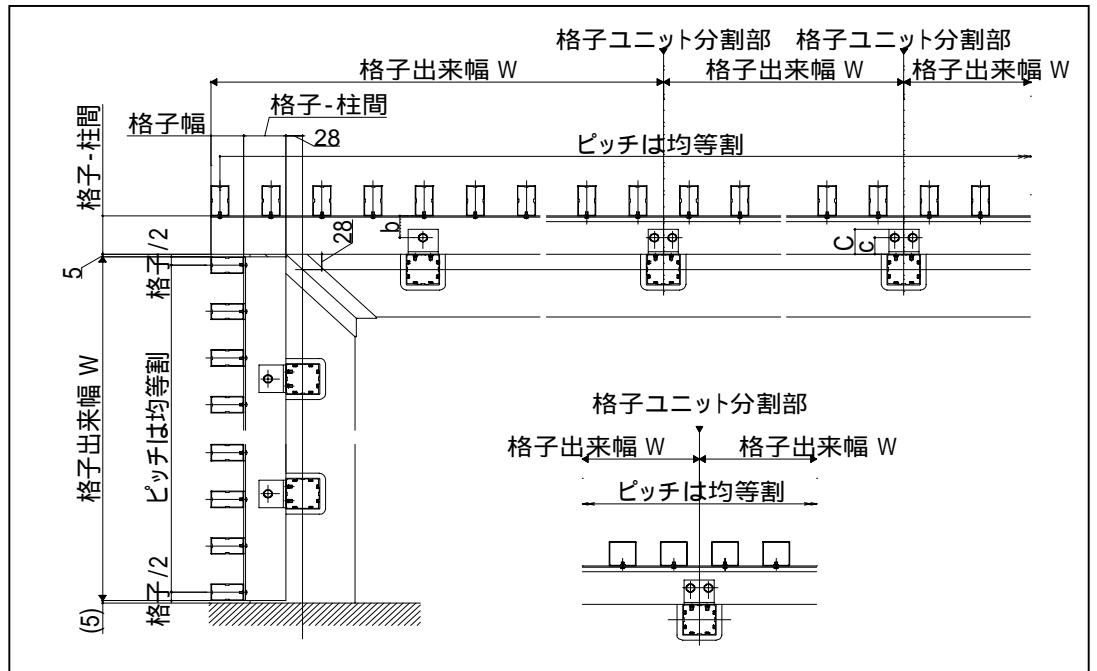
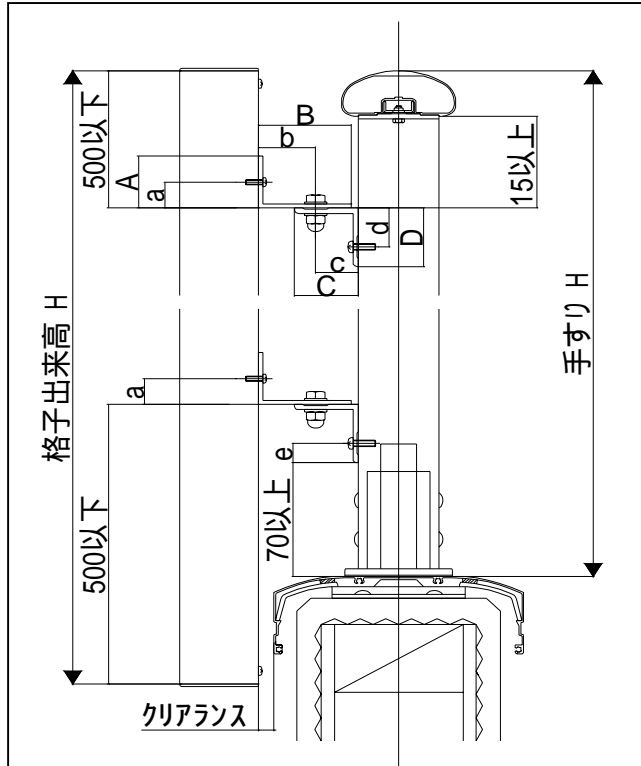
[2] コートラインの設計

右記「コーピング幅対応アングル寸法表」及び各タイプの「設計基準図面」を参照してコートラインの
 格子出来幅W
 格子出来高H
 取付け位置 を決めてください。

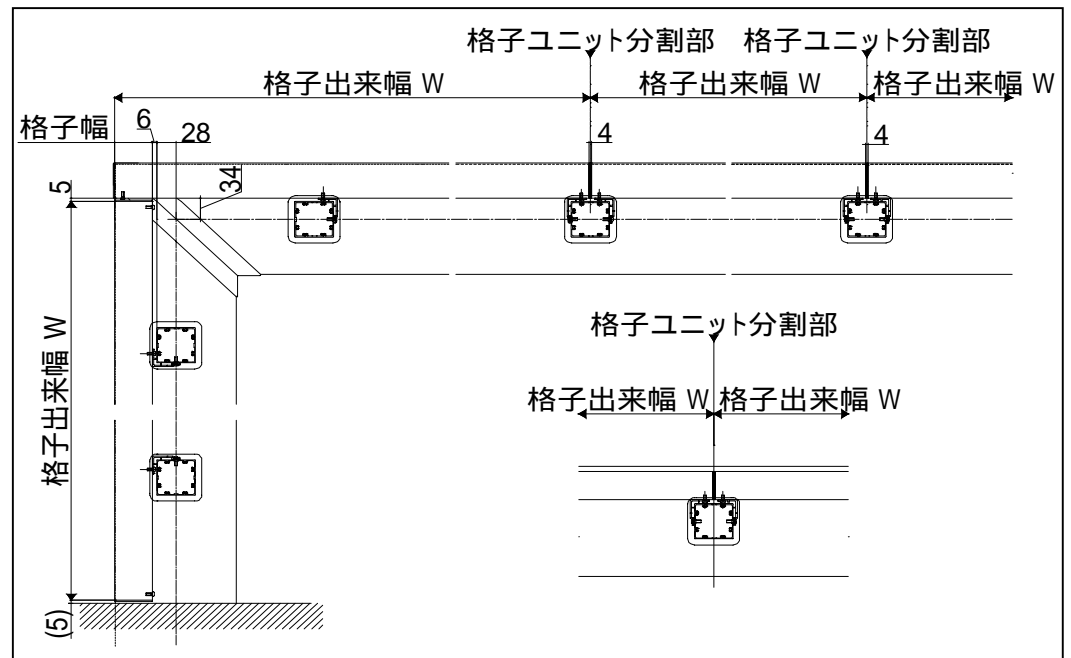
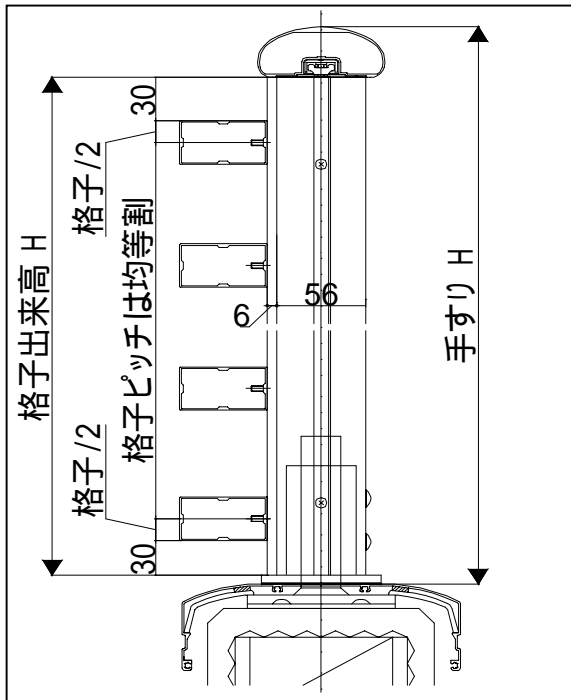
コーピング幅対応アングル寸法表

コーピング幅	クリアランス	使用アングル						
		胴縁用(A×B)	a	b	56柱用(C×D)	c	d	e
135	20.5	30×51	10	30	45×45	30	30	15
150	13	30×51	10	30	45×45	30	30	15
165	5.5	30×51	10	30	45×45	30	30	15
175	10.5	40×70	20	40	45×45	30	30	15
190	13	40×70	20	50	51×30	30	15	15
200	8	40×70	20	50	51×30	30	15	15
210	23	40×70	20	50	70×40	50	20	20
225	15.5	40×70	20	50	70×40	50	20	20
250	23	80×90	60	50	90×80	70	40	40
275	10.5	80×90	60	50	90×80	70	40	40
300	18	80×90	60	70	90×80	70	40	40

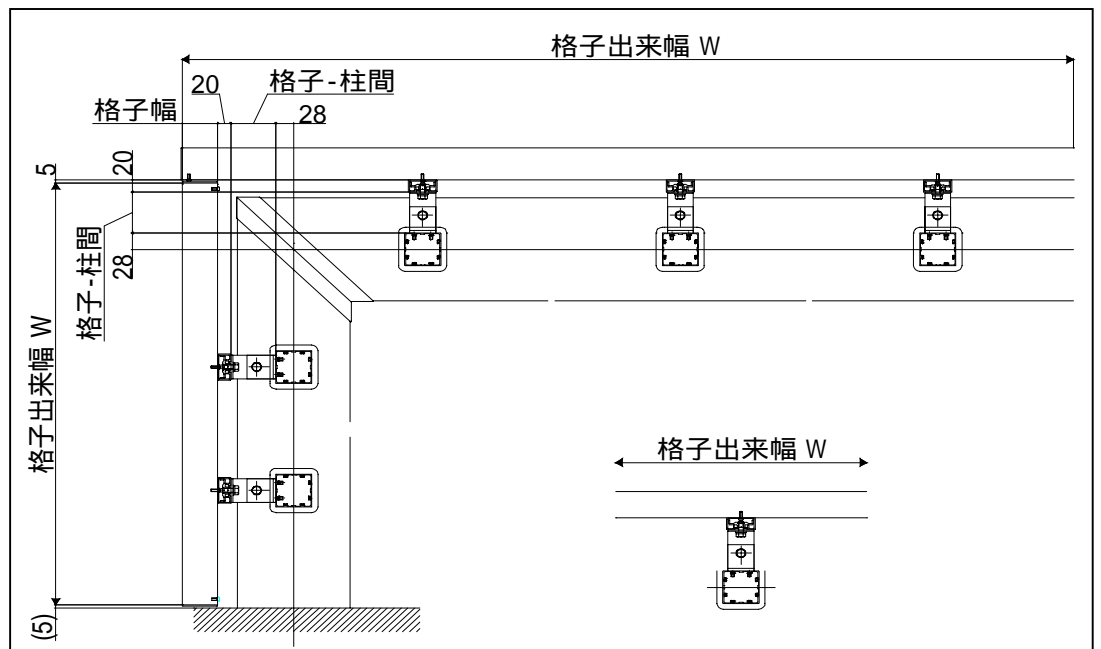
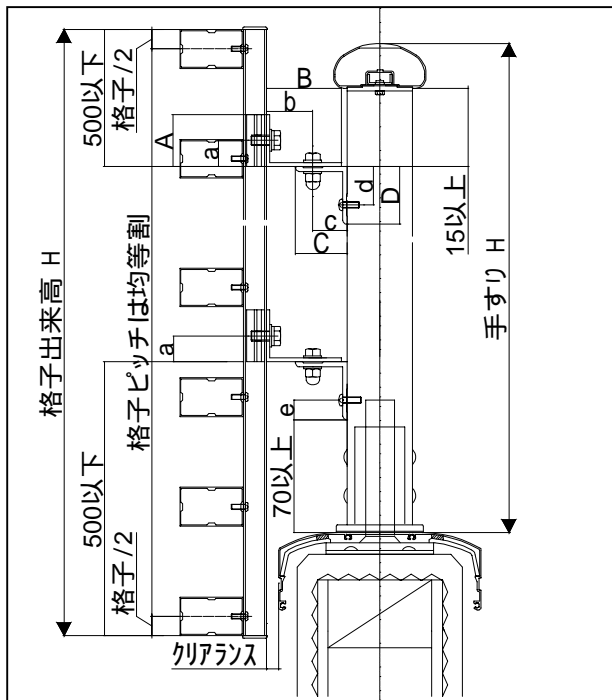
56柱 持出し納まり(縦格子) 【設計基準図】



56柱 直付け納まり(横格子) 【設計基準図】



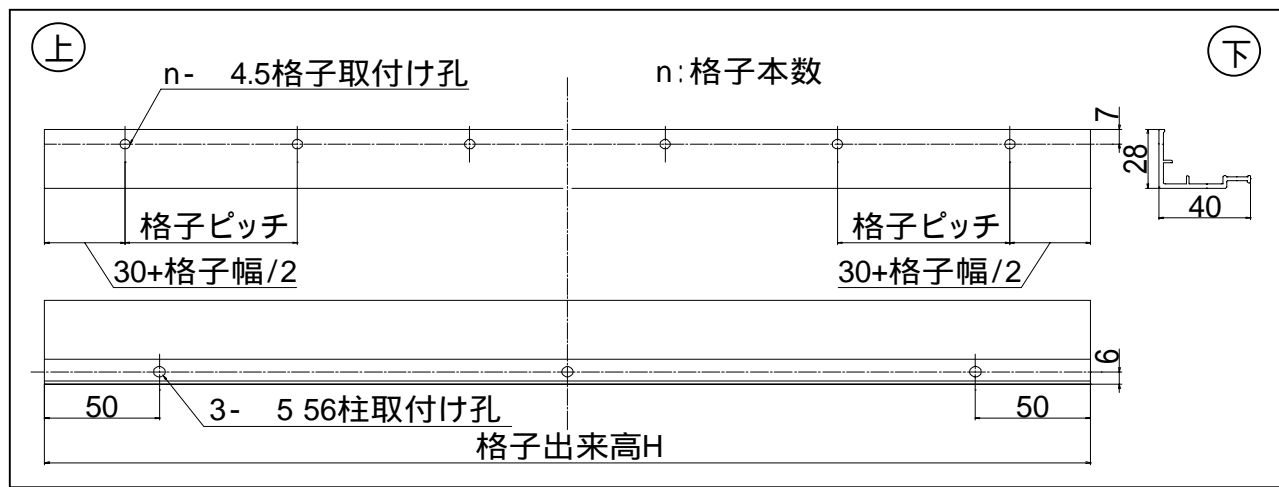
56柱 持出し納まり(横格子) 【設計基準図】



56柱 直付け納まり(横格子)

胴縁用の面材取付アングルを加工してください。

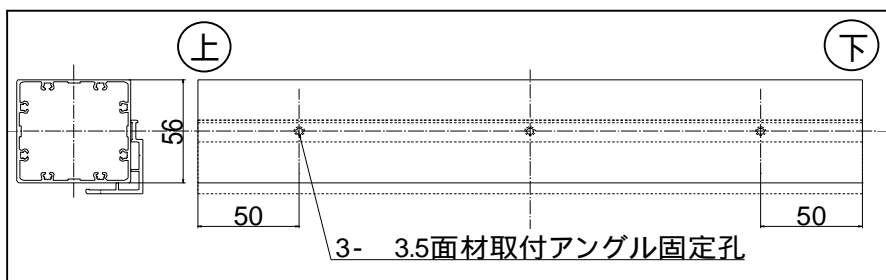
【面材取付アングル】加工図



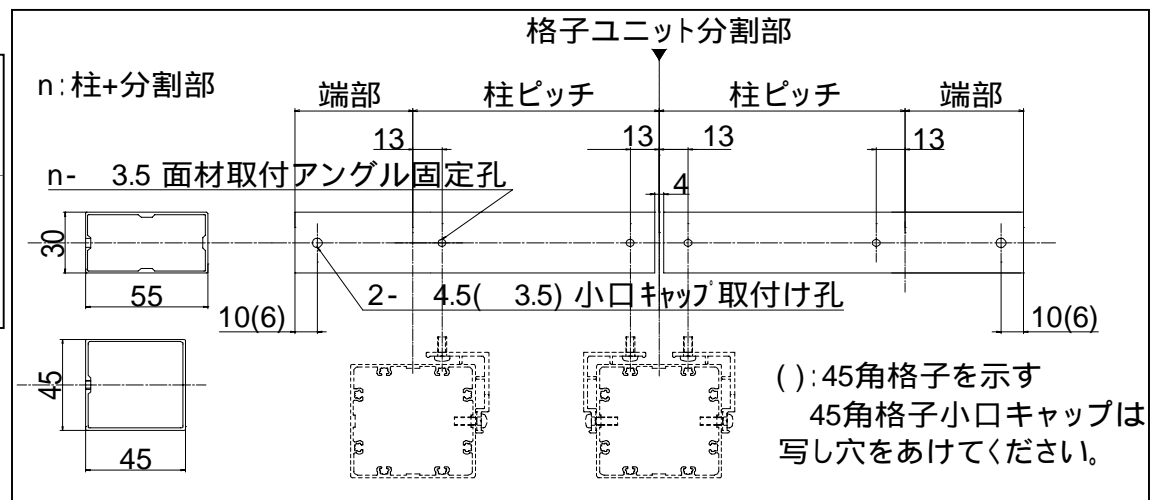
56柱を加工してください。

格子を加工してください。

【56柱】加工図



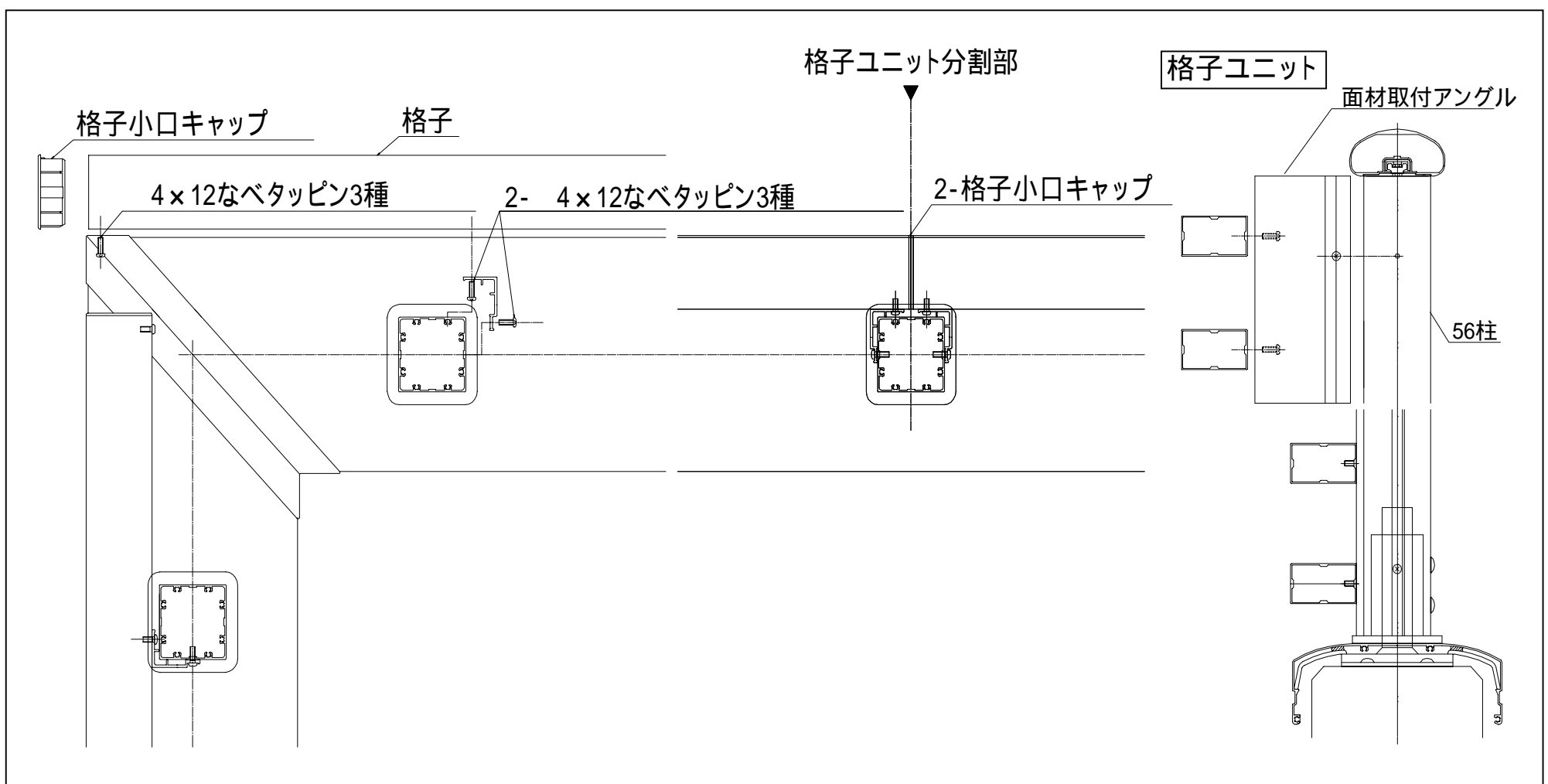
【30 × 55(45角)格子】加工図



格子と面材取付アングル、格子小口キャップで格子ユニットを組立てます。

下記納まり図を参照して格子ユニットを56柱に取り付けて下さい。

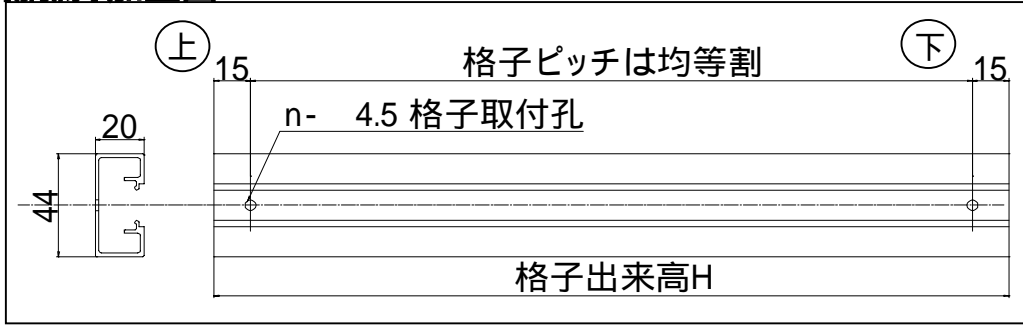
【56柱 直付け納まり(横格子)】納まり図



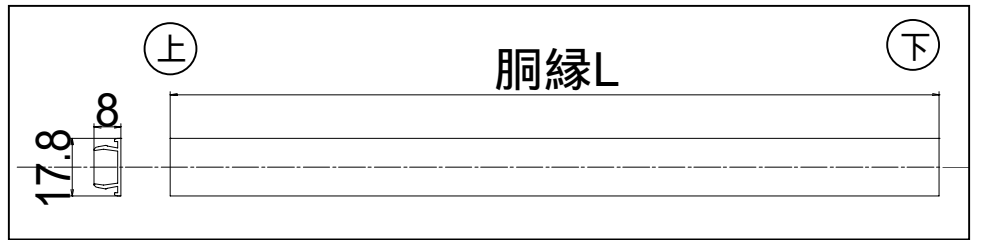
56柱 持出し納まり(横格子)

胴縁、胴縁塞ぎ材の加工をしてください。

【胴縁】加工図

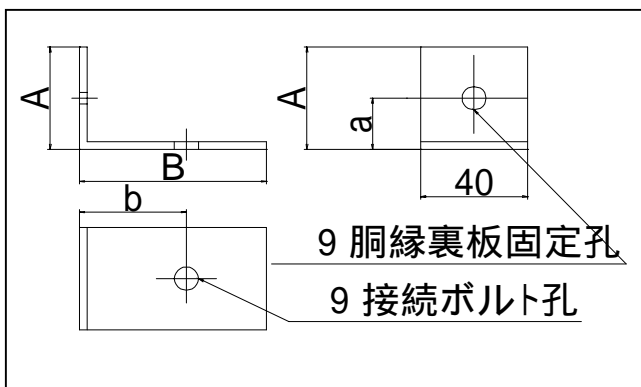


【胴縁塞ぎ材】加工図



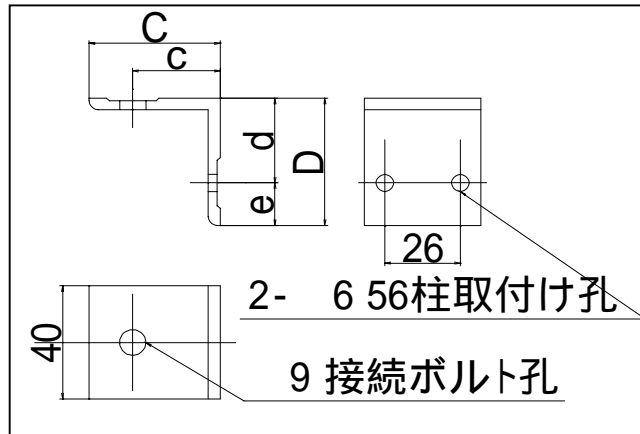
胴縁用アンゲルと、56柱固定用のアンゲルを作成してください。
寸法は2ページの「コーピング幅対応アンゲル寸法表」を参照願います。

【胴縁用アンゲル】加工図



アンゲルの小口は面取りをしてください。

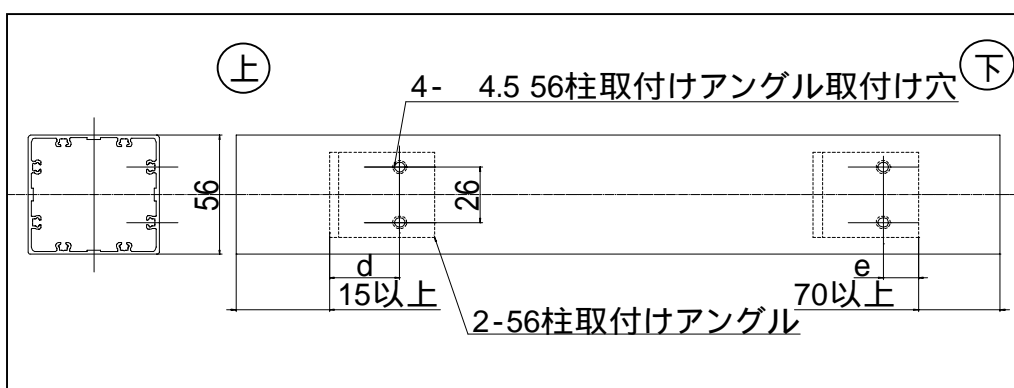
【56柱固定用アンゲル】加工図



アンゲルの小口は面取りをしてください。

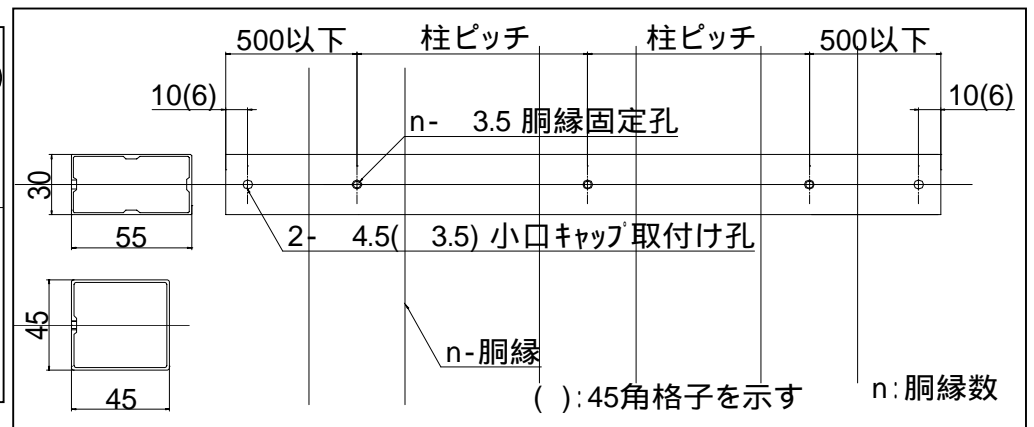
56柱を加工してください。

【56柱】加工図



格子を加工してください。

【30×55(45角)格子】加工図



格子と胴縁、胴縁裏板、胴縁小口キャップ、格子小口キャップで格子ユニットを組立てます。

格子ユニットに胴縁用アンゲルを取付け胴縁塞ぎ材を端部・胴縁用アンゲルの内々に合わせて切断し、取付けてください。

56柱に56柱固定用アンゲルを取り付けます。

右記納まり図を参照して格子ユニットを56柱に取り付けて下さい。

【56柱 持出し納まり(横格子)】納まり図

